

教育の推進 小中一貫	中期（3年間） 経営目標 【 】は主任・主事	短期（今年度） 経営目標 (2/3)	目標達成のための 手立て	評価指標	自己評価		学校関係者評価		改善計画
					2月 評価	結果と課題の説明 (実割合：%)【達成率：%】	2月 適正	意見等	改善案
確かな学力	主体的に学習に取り組み、基礎学力を身に付けた児童を育てる。  【吉川】 市岡 荻原	「基礎・基本」の学力を身に付けた児童にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者基点の授業づくりを励行し、振り返りを徹底して行う。</li> <li>・昼ドリルを工夫するとともに、実施を徹底する。</li> <li>・クロームブック等ICTを活用する。</li> <li>・家庭学習をやり切らせるための取組を実施する。(寺子屋あさひの活用・放課後等の個別指導)</li> <li>・週末読書の励行と、読書量の確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科、算数科の単元末テスト平均85点以上</li> <li>・30%未満の児童無し</li> <li>・全国学力・学習状況調査の正答率平均以上</li> <li>・DTの平均点が全国平均以上の児童80%以上</li> <li>・家庭学習をやりきった児童の割合80%以上</li> <li>・読書量の</li> </ul>	4	<p>○単元テスト平均点が、全国平均以上の児童の割合は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語 (74.8%)【88.0%】</li> <li>・算数 (75.4%)【88.7%】</li> <li>・平均 (73.1%)【86.0%】</li> </ul> <p>・30%未満の児童は国語科1人、算数科1人 国語科も算数科も前回評価と比較すると数値は少し向上しているが、目標には届いていない。前回評価同様、結果は学年によって差はあるものの、学校全体での統一した内容での継続的取り組みが必要。30%未満の児童も含めた学力の底上げが求められる。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の結果は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語 (旭70) (県66) (国64.7)【107.0%】</li> <li>・算数 (旭69) (県70) (国70.2)【98.4%】</li> </ul> <p>国語科は県、全国共に数値を上回った。算数科についてはわずかではあるが県、全国の平均以下となった。両教科共に「書く」「説明する」といった分野が苦手な傾向にある。正答率が低かった問題を中心に指導し、定着を図ってきた。教研式標準学力検査NRTについては1月27日を標準日として実施。採点及び集計を依頼中。実施内容や実施日を再考する必要がある。</p> <p>○家庭学習をやり切った児童は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の見取り (87.6%)【109.5%】</li> <li>・児童アンケート (87.2%)【109%】</li> </ul> <p>○家庭学習の時間を守っている児童</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート (79.9%)【99.9%】</li> <li>・保護者アンケート (62.4%)【78%】</li> </ul> <p>家庭学習については、若干の数値低下はあるが、多くの児童がやりきることができた。家庭学習時間については、児童と保護者の意識間で差異が認められる。学習習慣定着のため、改めて児童、保護者に学習時間について伝えていく必要がある。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元別テスト30%未満の児童が少ないのはよい結果である。家庭学習をやりきる、時間を守る児童も多く良いと思う。</li> <li>・また、「寺子屋あさひ」の取組により、学習のしんどい児童たちが意欲をもって学習できている。引き続き、取組の充実を期待する。</li> <li>・家庭学習の在り方は、各家庭によって違うが、保護者が子供の宿題をしっかりと見ることが必要である。</li> </ul>	<p>○現在、ICT研修を定期的に行い、ICTの有効活用を推進している。今後も引き続き実施し、児童により効果的な教材提示を行うとともに、担任個々の授業力向上を図る。全国学力・学習状況調査の結果を共通理解するとともに、課題分野についての授業内容の充実を図る。(ICTも活用しながら)</p> <p>○新年度の始めに、児童・保護者の両者に向けて、家庭学習の取組時間についての周知を行う。また、音読カード等を工夫し学習時間を意識させると共に、保護者への協力を呼び掛けていく。</p> <p>○今後はドリルタイムの有効活用が求められる。どの取組も継続的な実施によって定着していくので、欠かさず実施すると共に、内容の充実を図る。(計算の反復、問答ゲーム、百人一首等)</p>

<p>豊かな心</p>	<p>自律の心を育み、社会性を身に付けた児童を育てる。</p> <p>【山下】 栗田信 栗田葵 鎌倉</p>	<p>明るい挨拶・返事と正しい言葉遣いのできる児童にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会の月目標による学級ごとの取組を実施する。</li> <li>・あいさつ運動、掃除強化週間を設定し実施する。(年間3回ずつ)</li> <li>・自己評価、他者評価を活用する。(児童・保護者・地域アンケート)(年間2回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭小3つの宝(挨拶〈レベル3以上〉・返事、時間を守る、無言掃除職員による定着見取り80%以上(毎学期)</li> <li>・児童、保護者・地域アンケートの肯定的評価80%以上</li> </ul>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の肯定的評価の割合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ(66.7%)【83.4%】</li> <li>・返事(63.3%)【71.9%】</li> <li>・チャイム席(87.2%)【109%】</li> <li>・掃除(91.7%)【115.6%】</li> </ul> </li> <li>・2学期から3学期にかけて長期的に挨拶運動を行い、挨拶をすることへの意識を醸成した。マンネリ化を防ぐために、様々な外国語で挨拶を交わす挨拶運動を行った。事前、事後の挨拶に関する指導を確実にし、継続的に挨拶の取組をすることで、進んで挨拶をする児童が増えた。</li> <li>○挨拶・返事(レベル3以上) <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート(81%)【101%】</li> </ul> </li> <li>○家庭や地域の人に挨拶をしている <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート(77.5%)【96.9%】</li> </ul> </li> <li>○子どもに挨拶をするよう声をかけている <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート(90.4%)【113%】</li> </ul> </li> <li>○大きな声で返事をしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート</li> <li>・保護者アンケート(68%)【85%】</li> </ul> </li> <li>○時間を守る <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート(80.4%)【100%】</li> <li>・保護者アンケート(91%)【113.8%】</li> </ul> </li> <li>○時間いっぱい無言で掃除をしている <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート(95%)【119%】</li> </ul> </li> <li>○整理整頓ができる <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート(34.3%)【42.8%】</li> <li>・2学期から身の回りの整理整頓をする取り組みとして「すっきりデイ」を行った。毎回シートにチェックをすることで、児童自身が改善しようとする場面も見られた。定期的に取り組んでいるにもかかわらず、机やロッカーに不要な物が溜まる児童もいる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的にあいさつのできる児童が多くなれば、学校が明るくなる。さらに、家庭でのあいさつへの呼びかけにも期待する。</li> <li>・挨拶については、登下校中はしっかりしている印象。しかし、マスクをしている分、聞こえにくい時があるのはしかたがない。</li> <li>・あいさつ、返事の先生の評価の数値が低いのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○来年度は、挨拶運動を継続していくとともに、「挨拶ウィーク」等の取組を通して、短期間で意欲的に取組を考え、実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に自分から進んでレベル3の挨拶が50回以上できた人には、シールをプレゼントする。10枚たまったら何かご褒美をプレゼントする、など。</li> <li>・学級ごとの挨拶運動を継続する。(事前、事後の指導を丁寧に行っていく)</li> </ul> </li> <li>○児童会で生活目標を設定し、進んで時間を守ることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3分前行動をし、チャイムとともに授業を始める。5分休憩にやることや、整頓の仕方を児童に視覚化し徹底させる。</li> </ul> </li> <li>○継続して縦割り班掃除に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年が、低学年へ掃除の指導を行えるよう教師が促す必要がある。</li> <li>・低学年の手本となることで高学年の意欲を高める。</li> <li>・毎日掃除の反省を具体的に言い、意欲的に時間いっぱい掃除を行う。</li> <li>・月に掃除の担当替えを行い、様々な掃除道具の使い方、掃除の仕方を身に付けさせる。</li> <li>・機会を捉えて、整理整頓の時間を設けたり係を中心に整理整頓を意識させたりする。家庭からの声掛けも必要である。(整理整頓デイを設定する。)</li> </ul> </li> </ul>
-------------	--	-----------------------------------	---	--	--	---	--

<p>頑張る体力</p>	<p>健康で丈夫な心と体づくりを推進する。</p> <p><b>【大垣】【戸羽】</b> 川下 井上</p>	<p>進んで運動に親しみ、心身共に健康な児童を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科の授業改善を行い、運動の楽しさや喜びを感じさせる。</li> <li>・運動・遊びの環境を整え、運動や遊びへの意欲を喚起するとともに、運動・遊び時間を増加させる。C・Sとも連携を図る。</li> <li>・体育的行事や体育的活動を充実させ、運動のきっかけづくりを行う。</li> <li>・生活習慣チェックシートを作成し、児童と保護者への啓発を行う。</li> <li>・基本的生活習慣や食事マナーを身に付けることの意義を児童に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動や遊びが好き」と肯定的な回答をする児童90%以上。</li> <li>・「体育の授業が楽しい」と肯定的な回答をする児童85%以上。</li> <li>・毎日外遊びをする児童80%以上。</li> <li>・毎日朝食を摂取する児童95%以上。</li> <li>・毎日早寝・早起きができている児童75%以上。</li> <li>・新体力テストの全国平均以上の項目75%以上。</li> </ul>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「運動や遊びが好き」（肯定的な回答） ・児童アンケート(92.4%)【102.6%】</li> <li>○「体育の授業が楽しい」（肯定的な回答） ・児童アンケート(95.4%)【112.2%】</li> <li>○2学期以降に実施した体育科の研究授業では、「授業が楽しい」と回答する児童が全ての学年で増加した。</li> <li>○「毎日外遊びをしている」（肯定的な回答） ・児童アンケート(87.1%)【108.8%】</li> <li>○「毎日朝食を摂取している」（肯定的な回答） ・児童アンケート(97.7%)【102.8%】 ・保護者アンケート(85.9%)【90.4%】</li> <li>○「毎日早寝・早起きができている」（肯定的な回答） ・児童アンケート(80.4%)【107.2%】 ・保護者アンケート(71.9%)【95.8%】</li> <li>○新体力テストの全国平均以上の項目（全国の5年生を対象に実施） ・18項目中17項目(94.4%)【125.8%】 ・男子の「握力」以外の測定種目はすべて全国平均・県平均以上となった。</li> <li>○月に1回の「元気タイム」（ロング昼休み）に加え、週2回の「朝遊び」を取り入れたことで、朝から気持ちが上向き、明るく生活できている児童が増加したように見受けられる。</li> </ul>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日早寝早起きができている児童が多いのはとてもいいことだと思う。劇的に変化している環境に負けない体づくりにも必ず必要な事。睡眠不足や朝食抜きは大人でも熱中症等になりやすいので、登下校等のリスクから児童を守るためにもしっかり取り組んでもらいたい。</li> <li>・「体育の授業が楽しい」の質問に95.4%の肯定的な回答をしていることをとてもうれしく思う。さらに期待している。</li> <li>○1学期のアンケート調査に比べ、「体育の授業が楽しい」「毎日外遊びをしている」という質問に対して肯定的に回答した児童の割合が増加したことは成果である。しかし、「朝食の摂取」「早寝・早起き」の質問では、前回調査よりも数値が低下した。「朝起きられない」→「朝食を食べる時間がない」につながっているのではないかと考えられる。「家庭への啓発」以外の手立てがなく、改善案には悩むがC・SやPTAと協議しながら、家庭を巻き込む新たな手立てを講じていきたい。</li> </ul>
--------------	--	----------------------------------	--	--	----------	--	----------	---

<p>地域と創る学校</p>	<p>保護者や地域からの信頼に応える学校づくりをめざす。</p> <p>【吉川】 荻原</p>	<p>地域とともにある学校をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学習へ地域「人材」を積極的に活用する。</li> <li>地域行事を児童・保護者に向け視覚化する。(カレンダーや月行事予定表へ行事を明記)</li> <li>保護者アンケートを実施し、課題に対する改善策を検討し発信する。(年2回)</li> <li>ICTを活用した効果的、積極的な情報発信を行う。(各種たより、ホームページ等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・保護者アンケートの肯定的評価90%以上</li> <li>地域行事に参加した児童90%以上</li> <li>地域と関わる学習活動(地域から学校・学校から地域)を各学年1回は必ず行う。</li> </ul>	<p>4</p>	<p>○子供の思いや保護者の声を聞こうとしている ・保護者アンケート (87.1%) 【96.8%】</p> <p>○学校日より、HP等で情報提供をしている ・保護者アンケート (91.0%) 【101.1%】</p> <p>○地域や社会をよくするために考えている ・児童アンケート (66.5%) 【73.9%】 ・保護者アンケート (57.9%) 【64.3%】 1学期アンケートと同様、学校への保護者の評価は概ね肯定的である。学級や学校として、出来得る限りの行事や、その情報発信を行った為と考えられる。しかし、肯定的回答率は全ての項目において若干の減少傾向がある。児童の地域社会への意識の高さも1学期評価と同程度である為、地域社会とのさらなる課題解決的な関わりが必要とされる。</p> <p>○地域行事に参加している ・児童アンケート (72.1%) 【80.1%】 ・保護者アンケート (73.0%) 【81.1%】 コロナ禍で行事自体の実施も少なく、正しく見取ることができないが、地域行事に参加した児童は目標に届いていない。</p> <p>○地域とかわる学習や活動をしている ・児童アンケート (85.5%) 【95.0%】 2学期以降の地域と関わる学習活動は、学級単位では平均2.3回実施。蔓延防止等重点措置もあり、行事の中止や延期も多々あった。積極的にICTは呼べない状況ではあったが、工夫して実施し、多くの学年で1学期以上の取組を行うことができた。学級単位では0回という学級も、学校全体としては、見守り活動やさつき文庫堂(読み聞かせ)等でお世話になっており、継続的に関わってくださる多くの地域の方々に支えられている。 (寄せられた意見から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で行事の変更や縮小がある中でも、生き生きと学びの場を、親子ともども与えていただけることに感謝しています。</li> <li>総合的な学習の時間等のお便りが回覧で回ってくることもあり、どの学年も大変よく頑張っているないつも感じています。</li> <li>コロナ禍での活動には制限がありますが、(学校から)一つでも多く何かしようという気持ちも伝わってきます。</li> <li>コロナ禍での行事の設定はなかなか難しいとは思いますが、もう少し早めにお知らせや必要なものを知らせてほしい。</li> <li>コロナで大変な中、運動会やロードレース、参観日などの行事で子供の頑張る姿を見ることができ、先生方の努力に感謝しています。</li> <li>参観日後の懇談会を再開してほしい。密にならない工夫をすればできるのではないかと。(今まではほとんど少ない参加)</li> <li>2学期は行事がたくさんできて、感謝でいっぱいです。小学校最後の運動会をしたり修学旅行も行ったりすることができて、子供たちもたくさん思い出ができたと思う。</li> </ul>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事が取り止められている中、参加は難しいと思うが、地域を好きな子供に育ててもらいたい。地域も子供達の期待にそえるようにならないといけない。</li> <li>「改善案」に書かれた「単元展開や学習活動を仕組んでいく」という取り組みの充実に期待する。</li> </ul>	<p>○コロナ禍でも実施できる行事や、その実施方法を把握しておく必要がある。柔軟に考えることで、多様な方法での実施が可能である。今後もゲストティーチャー年間活用計画を活用して地域学習を実施し、その都度更新していくようにする。また、実社会(実生活)とも関連付けられるような単元展開や学習活動を積極的に取り入れていく。</p> <p>○今後も、地域と関わる学習を行う際には、「学習したことを生かしてどうしたいか」「自分のしていることが地域とどう関わるのか」といった内容を考える時間を設けるようにする。</p>
----------------	---	------------------------	---	---	----------	---	----------	---	--